



ノーリツプレジジョン株式会社

老朽化したERPをOBIC7へ！基幹システム再構築を内製で実現

社内外システムとのデータ連携を4ヶ月で構築

ノーリツプレジジョン株式会社は、写真処理機器や医療・介護機器などを開発・製造する企業。基幹システムとして長年SAP ERPを使ってきたが、老朽化に伴いサーバー更新を行うことになり、その際にバージョンアップが必要になった。しかしバージョンアップに多額のコストがかかるため、他のERPシステムを検討した結果、OBIC7に移行することに決定。周辺システムとのデータ連携も再構築する必要があったが、コスト抑制と短期間での開発のためには内製化することが必須条件となった。そこでノーコードで簡単にデータ連携処理を開発できる「ASTERIA Warp」を導入、OBIC7や既存システムを改修することなく、社外の受注システムや開発システム、製造システムとのデータ連携処理を4ヶ月で構築。将来はGoogle Workspaceと連携させることも視野に入っている。

課題・目的

- 老朽化したSAP ERPのバージョンアップには多額のコストがかかることがわかり、OBIC7へと移行することになった
- 基幹システム再構築の予算が限られていたため、データ連携に関するOBIC7のカスタマイズは最小限に抑えたかった
- コスト抑制と短期間での実現のため、外部のベンダーに開発を依頼するのではなく、内製化することが求められた

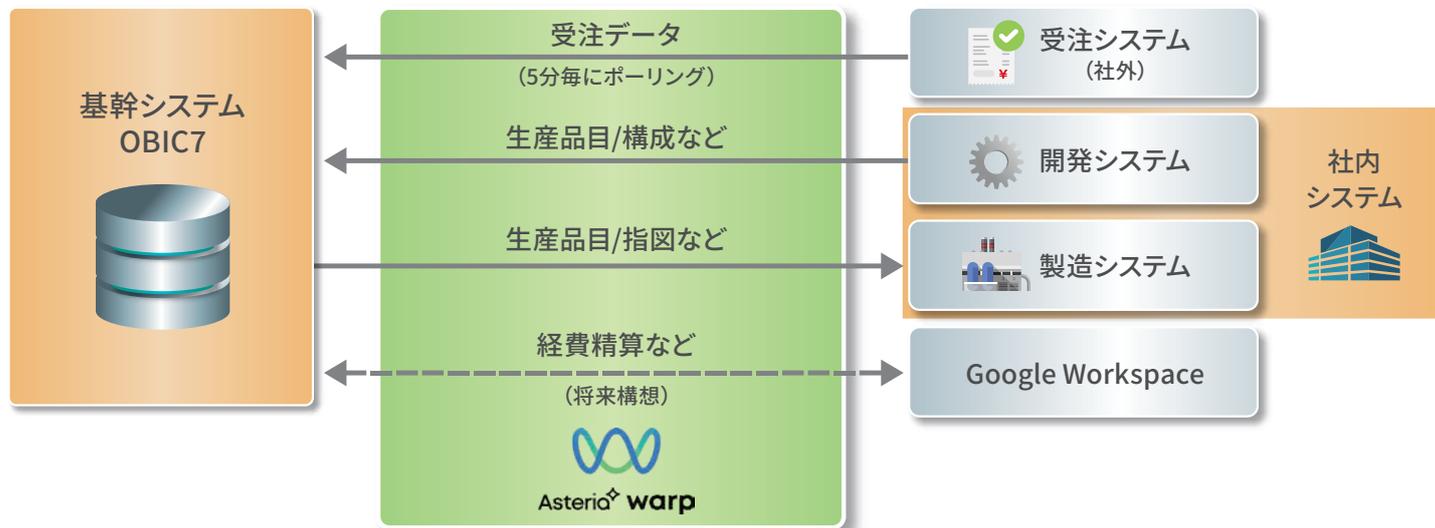
選定ポイント

- データ連携に必要な機能がアイコン化されており、これらを自由に組み合わせることで、ノーコードで直感的に使うことができる
- データ変換やフィルタリングなど、豊富な加工・変換機能があり、複雑な処理も組み込める
- 国内シェアNo.1の実績があり、ユーザーレビューの評価も高い

効果

- 周辺システムとのデータ連携をOBIC7のカスタマイズなしで内製構築。システム開発をベンダーに依頼する場合に比べ、数百万円規模のコストを削減
- システム開発経験のない担当者が4ヶ月で約60本のデータ連携処理を作成
- 内製化することでユーザー部門の要望や仕様変更に対応。開発ノウハウが社内に蓄積されるため、今後のデータ連携ニーズへの対応もスムーズに可能

システム概要



ユーザーの一言



データ連携の仕組みを内製化するために複数の製品を比較検討しましたが、最も直感的に使い、機能が豊富だったのがASTERIA Warpでした。機能を一つひとつ理解しながら開発していたため時間がかかりましたが、いったん理解してしまえばどんどんスピードが上がっていき、プロジェクト終盤では1日1本のペースで開発を進めることが可能になりました。多くのユーザーが積極的に情報を発信しており、参考になるノウハウが多いことも、ASTERIA Warpの魅力のひとつです。

管理部 総務課 情報管理チーム 島本 浩司 様

User Profile

NORITSU
PRECISION

所在地：和歌山県和歌山市梅原579-1

会社概要：イメージング、医療・介護、スマート畜産に関する製品の開発・製造

業種：製造業

URL：https://www.noritsu-precision.com/